

郵便ポストの種類

撮影・文：マルポ



谷町線
Machi Line





昭和24年から昭和44年まで製作された、戦後の日本を代表する郵便ポスト。
素材は鑄鉄製のため、鉄製ポストより若干、錆に強い。

このポストは差入口と取集口が別の方向を向いています。
郵便差出箱1号丸型は、上半身だけ回転して設置できる構造。



開いているところが収集口。ここから郵便物を取り出します。
前ページとは違い収集口、基本位置。

ドラクエの鍵



取集口を開くための鍵。〒マークがいかしている。

この形の鍵は、見たことがない人もいるでしょう。
昭和時代を物語る、通称「ドラクエの鍵」。

1号はふたつある <郵便差出箱1号角型>



郵便差出箱1号丸型は昭和44年（1969）年に生産終了。その翌年、昭和45（1970）年から使用開始された郵便差出箱1号角型。郵便差出箱1号には丸型と角型のふたつの種類があります。

壁掛けタイプ <郵便差出箱2号掛箱>



昭和26年（1951）年から製作。郵便物が少ない市町村、集落などで見られます。



雨よけの板を押して、郵便物を投函します。

四角い郵便ポストが定着していく <郵便差出箱3号>



郵便差出箱2号掛箱と共に、昭和26年（1951）年から使用開始。



速達専用に使われた「[青いポスト](#)」郵便差出箱4号。

昭和34（1959）年から使用開始。

赤い郵便ポストと並んで設置される場合が多いため、取集口は向かって右側にあります。

となりの赤いポストは向かって左側にあり、並列を考慮した設計。

あれ、青くないよ



なんか見慣れないポスト。本来は青い速達専用の郵便差出箱4号。

私設で普通の郵便ポストとして使われている場合もあります。
赤く塗られ、胴体にある「速達」の文字は撤去されています。

第二の速達専用 <郵便差出箱特4号>



昭和40（1965）年から使用。郵便差出箱4号の容量を大きくしたもの。



かつては鉄道駅構内に郵便ポストがありました。
現在は、どこの駅にも見られなくなった幻の郵便ポスト。

実際に郵便ポストの歴史資料で、郵便差出箱5号に触れられていないケースも見受けられます。



昭和34（1959）年から使用。郵便物の増加により、胴体が地面まで延長。
扉は左右に設置され、両側ともに開く構造。

しかし、地面まで胴体があるので接地面の腐食が激しく、現在は絶滅危惧種。



昭和37（1962）年から使用開始。差入口が2つになりました。

以前は「県内郵便」と「県外郵便」を分ける目的で使用されていましたが現在は「手紙・はがき」と「その他郵便」に分かれていることが多い。



左側：手紙・はがき 右側：その他の郵便 (写真は郵便差出箱8号)



中心部に書かれたお願い。



期間限定で、このように変更されます。(写真は郵便差出箱8号)

小さな郵便差出箱7号 <郵便差出箱8号>



昭和41（1966）年から使用開始。郵便差出箱7号の胴体を小さくしたもの。

小さな郵便ポスト <郵便差出箱9号>



昭和49（1974）年から使用開始。

郵便物が少ない地域で活躍。

となりの公衆電話と大きさを比較してみてください。

9号F型



ステンレス庇が特徴的。



時代は昭和から平成となり、平成8年（1996）年に、新型の郵便ポスト5種類（10号から14号）が誕生しました。その筆頭が郵便差出箱10号。

郵便差出箱10号じゃ容量不足 <郵便差出箱11号>



内容量が郵便差出箱10号では足りない問題は、この郵便ポストで解決。



ポストの上に、その土地由来のものが乗っていることがあります。
これは愛知県半田市出身、新美南吉氏にちなんだ「ごん吉くん」。

都心部でもOK！ <郵便差出箱12号>



郵便差出箱7号の進化型。郵便物が多い都心部でも対応できる郵便ポスト。



投入口は向かって左側が「手紙・はがき」、右側が「その他郵便物（大型・速達郵便など）」
郵便差出箱7号との変更点は、差入口の幅を変えています。

ダブルポスト



郵便差出箱12号1本で足りない場合は、2本並んで郵便物を待ちます。



予算の都合でしょうか？

片方だけ新型に更新。

新旧ポストの違いを観察するにはもってこい！

トリプルポスト



ダブルポストでも足りない場合はトリプルポスト！
表紙写真もそうですが、1本は青いポスト。

迷わず青いポストに投函する姿は、「慣れてる感」がすばらしい！



胴体が小さく、右の差入口は広く作られています。



最後に紹介する郵便ポストは、郵便差出箱14号。

小型ポストなのに、レターパックが入る大きな差入口が特徴。

インターネットが普及し、郵便物が減少していく昨今

これくらいの郵便ポストで十分な地域が多いのかもしれない。

あとがき

今回は、一般的に使われている郵便ポストの種類を紹介しました。
復刻版や色違いなど、特殊なものは省いています。

郵便ポストは、その地域に合ったものが使用されています。
旅行や出張などで行かれた地域で、郵便ポストが気になりましたら
この本が参考になれば幸いです。

マルポ拝

郵便ポストの種類 撮影・文：マルポ 2017年12月17日発行

©2017マルポ Copyright(c)2017マルポ, Inc. All Rights Reserved.

郵便ポストの種類

<http://p.booklog.jp/book/118638>

参考資料・引用：「ポストのうつりかわり」郵政研究所附属資料館 2001.10.31

著者：マルポ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/marugata/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/118638>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト